

作成日：令和2年11月20日

令和2年度 第1回高知県臨床実習指導者講習会（WEB講習会）に参加して

森 祐輔

今回、令和2年10月31日（土）、11月1日（日）、11月3日（火・祝）に開催された第1回高知県臨床実習指導者講習会に参加しました。今回は新型コロナウイルス感染予防のため、Zoomを使用したオンラインでのWEB会議方式の開催でした。学生の指導に必要なこともあり参加しようと思いましたが、自分自身に経験のない参加様式で、講義だけでなく演習もあるため、参加に不安もありました。

当日までの事前準備として、必要な物品や環境、Zoomの操作マニュアルなどの資料の配布があり、事前のZoom接続確認の時間では、マイクやカメラのテスト、当日のグループワークのやり方、資料の作成方法など実際に行うことができ、当日は不安なく参加することができました。

講習会当日は、自宅にWi-Fi環境がないため、職場で参加しました。事前に接続確認をしていることもあり、イメージしていたよりもスムーズに参加することができました。講義では、臨床実習指導者研修制度の背景、学生の特徴と対応、実習指導者の役割・指導方法、作業療法参加型実習やMTDLPを活用した指導方法などを学ぶことができました。各講義後のグループでの演習では、様々な領域、経験年数の違う方々の意見を聞くことができ、メリットやデメリット、課題、対策などを検討していく中で、どのように学生に指導していくと効果的なのかを考えることができました。指導者として、学生の作業療法士、社会人としての手本となること、学生の心理面をサポートしながら、学生に応じた目標の段階付け、指導を実施していく重要性を改めて学ぶことができました。また、実習時間内での効率的な学習環境を作るためには、担当の指導者だけでなく、部署全体で指導、サポートをしていく体制が必要だと思いました。



今回のWEB講習会に参加して、参加前にあったPC操作やZoomのやり方、講習会参加の不安は、事前の準備、当日のトラブルへの対応など、参加者の不慣れに対する配慮があったこともあり、特に不安を感じることはありませんでした。2日目以降は、Zoomの使用やディスカッションにも慣れ、スムーズに参加することができました。講義の際は、カメラとマイクはオフでの聴講で、他者の目も気にすることもなかったため、思ったよりもストレスなく参加ができました。刺激が少ない分、眠気も時にありましたが、休憩も各講義ごとにあり、気分転換を図りながら行えました。オンラインでのディスカッションは、現実のディスカッションと違い、要点を絞った発言になるため、スムーズに進行していましたが、久しぶりにお会いした先生と話をすることもなかったため、少し物足りなさや寂しさを感じました。今回は県内の研修会でしたが、オンラインでの参加様式であれば、自宅や職場などで気軽に参加もしやすく、県外

の研修会でも参加しやすいと感じました。

当施設より他にも研修会に参加しており、参加前のイメージは「Zoomでの参加が初めてでできるのか不安」、「PCが苦手なため大変そう」などがありましたが、参加後には「当日に音声やワードに書き込めないトラブルがあったが、スタッフの対応もあり、スムーズにできた」、「最初は混乱したが、慣れると不安なくでき、司会や書記なども行うことできた」、「今後も参加ができそう」という感想が聞かれました。

研修会に参加を迷われている方の中で、「オンライン研修だからどうしよう」、「不慣れで自信がない」など思われている方がおられましたら、不慣れや不安に対する配慮、対応もありますので、一度参加してみてはいかがでしょうか？今後の研修会の新たな参加様式の1つとして選択肢にできると思います。